

またたうら

心豊かな教育文化のまち
《仙北市教育委員会だより》
第110号

桜木内小学校 せんぼく校と交流したよ



力を合わせてパズルに挑戦。

11月12日、大曲支援学校せんぼく校の友だちを招いて交流会を行いました。体育館に交流チームごとと並び、今日の活動を確認して、始まったのは「ピンポン玉リレー（お玉に乗せて走る）」「早く」「頑張れ」と声がかかり、だんだん緊張がほぐれていきました。チームで力を合わせて「総合わせパズル」に挑戦したり、校内を巡って「宝探し（ヒントを手掛かりにシールを集めるゲーム）」をしたり、活動を通して交流は深まっています。パズルは6年生の手作りで、アンパンマンやワンピース、コナンやドラえもん、クレヨンしんちゃんなどよく知っているアニメのキャラ

クターが子どもたちの興味を引きます。桜木内小学校は「子ども美術館」を名乗るほど校内外が美術作品であふれている学校です。明るい色使いの作品が多く、そこにいるだけで前向きな元気パワーが感じられます。

大曲支援学校せんぼく校小学部の伊藤新さん（6年）は、「ワンピースのパズルに挑戦した。楽しかった」と。桜木内小学校の座間心暖さん（6年）は、「今日の交流会は楽しかった。宝探しの時にみんな協力してシールを集めることができた」と話してくれました。最後は記念に桜木内小自慢の緞帳の前で記念写真。普段は見られない緞帳に子どもたちは思わず歓声を上げていました。



自慢の緞帳の前で。

角館中学校 交流はオンラインで

11月26日、姉妹校である台湾の恵文高級中学とオンラインで交流しました。今回は英会話部が中心となり、恵文高級中学と英語でやりとりを行いました。

お互いに近況を伝え合ったり、ゲームをしたり、質問し合ったり、和気あいあいと1時間ほど交流しました。角館中学校は昨年10月に台湾を訪

問しているのので、台湾の話題も身近に感じて話すことができましたよ。



パソコンのカメラに向かって。

今後お互いにとってよい交流が続くことを期待したいです。

生保内小学校 生演奏の迫力を感じて

11月18日、4人の演奏家を迎えて芸術鑑賞を行いました。お迎えしたのは、安藤満里さん（クラリネット奏者）、北嶋奏子さん（バイオリン奏者）、山崎圭子さん（ピアノ奏者）、藤原滋さん（ファゴット奏者）です。

子どもたちは生の楽器の奏でる音に身を乗り出して聞かしていました。子どもたちを夢中にさせ、全十曲を通して音楽の魅力を伝えてくださったカルテットでした。



四重奏の演奏に魅了されました。

体罰などごりごりない子育てを広げよう！

こんなことをしていませんか？

▶ 何度も言葉で注意したけど、「言いごと」を聞かないので頬を叩いた。
▶ いたずらをしたので長時間正座させた。

すべて体罰です。

体罰が繰り返されると、子どもの心身の成長・発達に様々な悪影響が生じる可能性があります。

体罰などごりごりない子育てのための工夫のポイント

point1 / 子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう



「言いごとを聞かない」「にもいろいろあります。大人の気をひきたい、子どもなりの考えがある、言われていることを理解できない、体調が悪いなど様々です。「イヤだ」というのも子どもの気持ちです。子どもの気持ちや考えを受け止めましょう。重要なことでない場合、今はそれ以上やらないのも一つです。

point2 / 子どもの状況に応じて身の回りの環境を整えましょう



危険なものにふれないようにする、子どもが自分でできる環境を作るなど工夫してみよう。

point3 / 注意の方向を変えたり、子どものやる気に働きかけてみましょう



子どもはすぐに気持ちを切り替えることが難しいこともあります。待つことや場面を切り替えるなど注意の方向を変えてみてみましょう。

point4 / 肯定文で分かりやすく、時には一緒にお手本に



「ここでは歩いてね」など、何をすべきかを具体的に、穏やかに話すとかかりやすく伝えます。「一緒におもちゃを片付けよう」など、共にやり方を示すのもよいでしょう。

point5 / よいこと、できたこと、具体的には褒めましょう



子どものよい態度や行動、頑張りをほめることは、子どもにとってうれしいだけでなく、自己肯定感も育みます。

point6 / 保護者自身もストレス解消の工夫を



否定的な感情が生じた時は、深呼吸をして気持ちを落ち着けたり、ゆっくり5秒数えたり、窓を開けて気分転換するなど少しでもストレス解消につながる工夫を見つけてみましょう。

子育てはいろいろな人の力と共に

子育ての大変さを保護者だけで抱えるのではなく、支援を受けることも必要です。子育て支援サービスを積極的に活用したり相談しましょう。

相談窓口

- ▶ 仙北市保健課 ☎55-1112 (21日から☎43-2252) ☎080-2813-0835
- ▶ 仙北市子育て推進課 ☎43-2280

ネウボラって？
フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。

妊娠 出産 乳幼児期

【電話相談／仙北市保健課】
《固定電話》☎55-1112 (21日から☎43-2252)
《携帯電話》☎080-2813-0835

仙北市ホームページはコチラ！

